

平成 18 年 7 月 24 日

## 1 号機原子炉建屋における水漏れについて

東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

当所 1 号機において、起動中の平成 18 年 7 月 23 日午前 3 時頃、原子炉隔離時冷却系\*の確認運転後に現場のパトロールを行っていた当社運転員が、原子炉建屋地下 2 階の原子炉隔離時冷却系ポンプ室内のファンネル（排水口）から水が溢れ、床に水が漏れていることを確認しました。

漏れた水は、当該系統のタービン軸封部で使用した蒸気の凝縮水等で、ファンネルへの排水を停止したことにより止まりました。

漏れ量は約 4.7 リットル、放射エネルギーは約  $1.03 \times 10^4$  ベクレルでした。漏れた水は、拭き取りにより清掃を実施しました。

今後、原因について調査します。

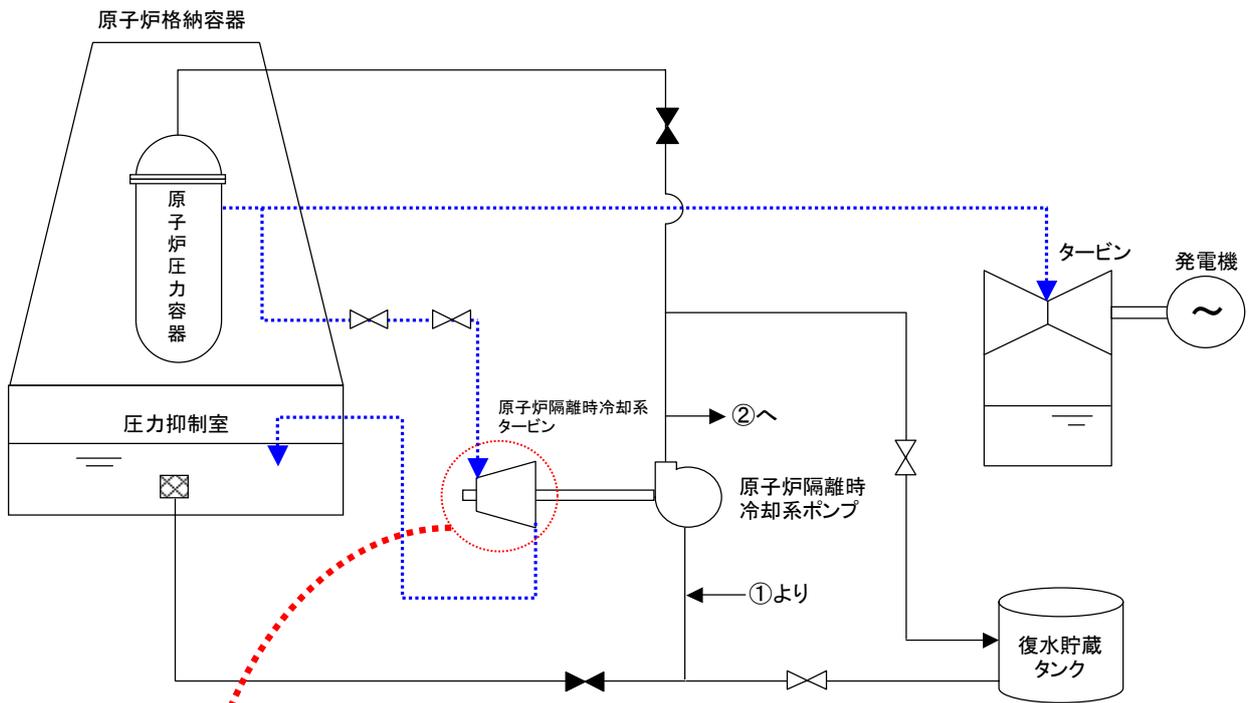
なお、これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

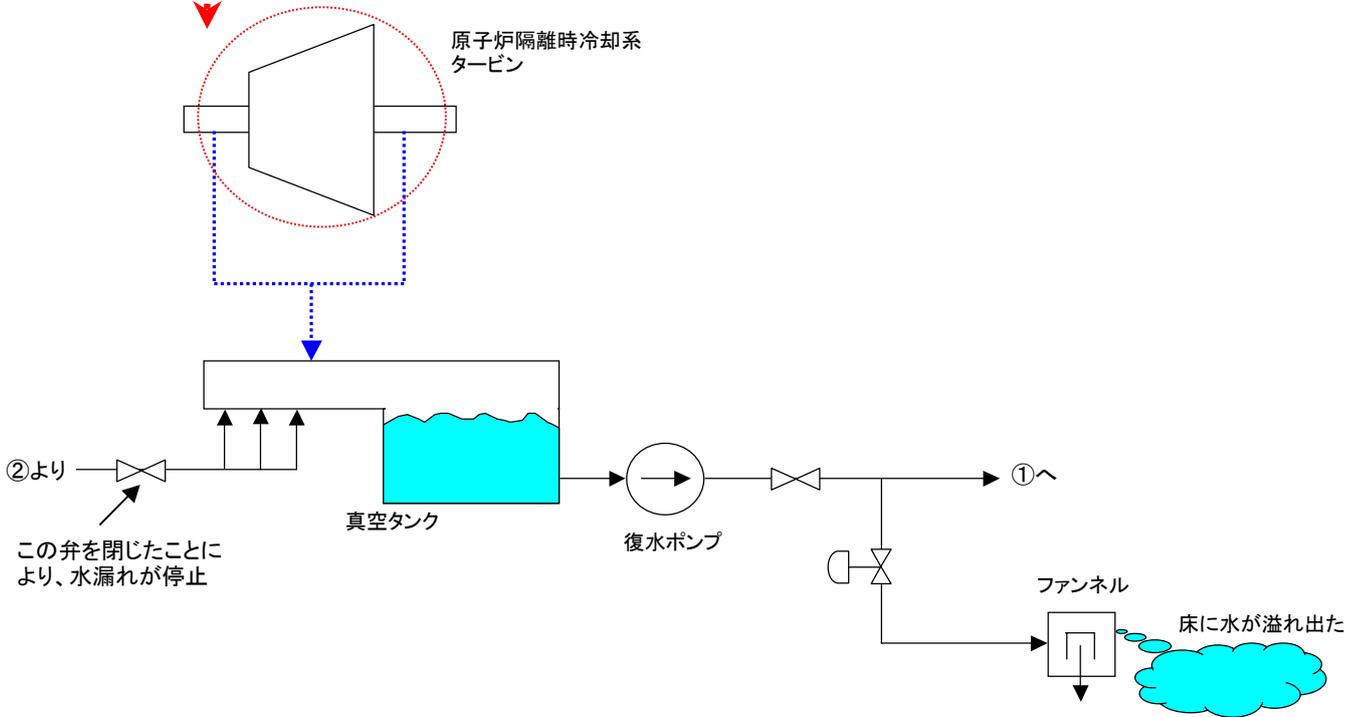
\*：原子炉隔離時冷却系

原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し、原子炉の水位確保および炉心の冷却を行う系統。なお、本系統は非常用炉心冷却系ではない。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における、区分Ⅲに該当するものとしてホームページに掲載したものです。



原子炉隔離時冷却系 系統概略図



原子炉隔離時冷却系 漏えい箇所概略図